

教 務 旬 報

教務通信 第3号 令和5年5月11日

登校日数
22/194

総合的な探究の時間が始まります

前期の総合的な探究の時間が5月16日（火）から始まります。

総合的な探究の時間とは、「探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成すること」を目指します。

本校では、時間割に位置づけず、前後期に各4日ずつ集中授業（各4単位時間）を行い、年間32単位時間の学習を設定しています。先生方と一緒に学習テーマを深めて、生徒が自ら設定した課題を解決していく学びを展開します。日頃の授業とは異なり、さまざまな人の考えに触れたり、実社会の問題を様々な角度から考えたり、学習の新たな楽しみを感じる場となります。解決の道筋がすぐには明らかにならない課題や、唯一の正解が存在しない課題に対して、最適解や納得解を見いだしていく探究の時間は、今まで自分自身でも気付かなかった能力を発揮する場になるかもしれません。担当の先生の指示をよく聞き、ルールやマナーを守って、安全で有意義な学習活動になるようにしましょう。

さて、「総合的な探究の時間」は「**必履修**」の学習です。単位の認定に、各教科・科目と同様に「履修」の認定が必要になります。1日休むと、4単位時間の欠課となります。休まずに済むように、体調管理もしっかりしておきましょう。

	テーマ	活動内容	活動場所
Ⅰ部	ライフスキル 自立するには ～学校で楽しく過ごすために～	ホワイトボードミーティング® 良好な関係性づくり～企画会議	視聴覚
	数学史	課題を見つけ、方向性を決める	情報室1 図書室
	進路実現「情報収集と対策と実践」	学習の進め方と注意事項・面接に備えて	64 65
Ⅱ部	ライフスキル 自立するには ～学校で楽しく過ごすために～	ホワイトボードミーティング® 良好な関係性づくり～企画会議	視聴覚
	課題探究学習～発想と協同を育む探究活動～	「探究とは何か」 オリエンテーション 各担当のプレゼンテーションとグループ分け 探究テーマに迫るための思考整理のワークショップ	61 62 63 64 65
	100年を創造するチカラとわたしのキャリア	仲間づくりと問いかけ	73
Ⅲ部	ライフスキル 自立するには ～学校で楽しく過ごすために～	ホワイトボードミーティング® 良好な関係性づくり～企画会議	視聴覚
	地域活性化(国際 山形 霞城セントラル 他)	課題設定	AL 情報室2
	「山形の宝物とともに(地域課題研究)」 「自分が生まれ育った」もしくは「今現在済んでいる」山形県の良さについて、自分なりの課題を設定し探究活動を行う	研修旅行で訪れる地域(近県)の歴史や伝統文化について 生徒それぞれの興味に基づいて課題を設定する	情報室1
	進路実現に向けて、社会状況の分析および自己分析を進め、自身の資質向上を考える	学習の進め方等についてのガイダンス	情報室2

※原文まま

<保護者の方々へ>

教務旬報は、ホームページでもご覧いただくことができます。モバイルサイト（スマホで閲覧可能）も対応しています。アクセスは以下のアドレスへ

<http://www.kajogakuen-h.ed.jp/htdocs/定時制の課程/生徒・保護者の方へ/> もしくは、「霞城学園高校」で検索をお願いします。

はじめに

■「探究的な学習」とは

「探究的な学習」とは、図 1 のように、問題解決的な活動が発展的にくり返されていく学習活動を指します。

- ①【課題の設定】体験活動などを通して、課題を設定し課題意識を持つ。
- ②【情報の収集】必要な情報を取り出したり収集したりする。
- ③【整理・分析】収集した情報を、整理したり分析したりして思考する。
- ④【まとめ・表現】気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、問題の解決に向けた判断をし、表現する。

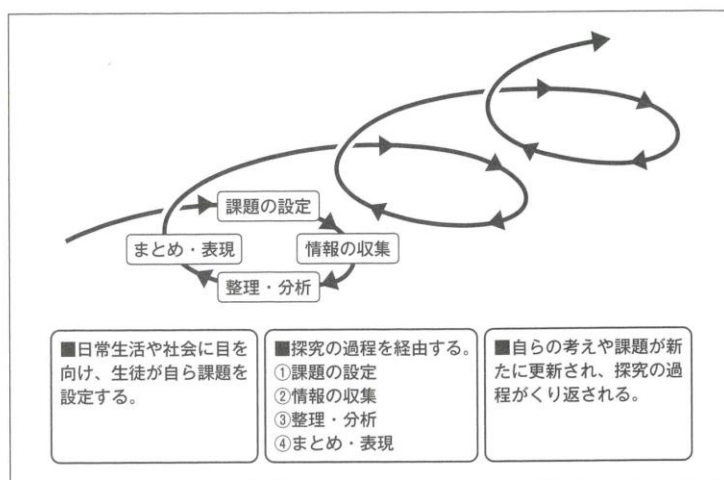


図 1 探究における生徒の学習の姿

※文部科学省「高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編」をもとに作成

これからの時代を生きていく皆さんには、自分で課題を発見し、解決していく力が求められます。そして、そのような力を身につけるためには、自ら課題を設定し、試行錯誤しながら答えを模索する「探究的な学習」をくり返すことが、非常に重要になってきます。本教材で、これまで皆さんが経験してきた調べ学習とは異なる、「探究的な学習」に必要となる力を身につけていきましょう。

